

「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2018年12月3日

12月3日（月）に、金沢大学がん進展制御研究所4F会議室において、Cold Spring Harbor Laboratoryの樽本雄介先生をお招きして、がん進展制御研究所セミナーを開催しました。

セミナーでは、「機能ドメインを標的としたCRISPRスクリーニングによるがんの治療標的の探索」という演題で、急性骨髄性白血病(ALM)発症に特異的に関わる転写因子を標的としたCRISPRスクリーニングによって発見された新しい転写因子の働きについて、講演していただきました。新しい標的を探索する技術を学んだ、大変有意義なセミナーとなりました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等約50名が参加し、とても活発な質疑応答や意見交換が行われました。



機能ドメインを標的とした CRISPRスクリーニングによる がんの治療標的の探索

講演者：Cold Spring Harbor Laboratory
博士研究員 樽本 雄介先生

日時：平成30年12月3日(月) 17:00～18:00

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

樽本雄介先生は、米国のVakoc博士の研究室で、独自に開発したCRISPRスクリーニングにより、急性骨髄性白血病(AML)におけるキナーゼと転写因子の相関した依存性を同定しました。今回の講演では、その分子機構の解明とがん治療標的としての有用性について講演していただきます(*Mol Cell*, 2018 ; *Cancer Cell*, 2018)。
皆様、奮ってご参加ください。